

(様式第3号)

企業・団体名 (株式会社大盛テクノシステム)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	□	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	昇給昇格において人事評価制度を策定し、性別・出身・年齢等に関わらず公平な評価を実施している。差別、セクハラ、パワハラ等に対する相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	相談窓口の設置及びハラスメント禁止の旨を就業規則に記載している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	社会保険労務士に依頼し毎月の労働時間の管理を行っている									8.5 8.8										
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者への対応について社内勉強会を実施した				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	職長教育の受講、ポスター・掲示板を活用し意識づけを行っている			3						8										
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	長野産業保健総合支援センターに「心の健康づくり計画」を提出しており、無料相談に対応してもらっている			3																
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材 (女性、外国人、障がい者、高齢者等) が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	性別・出身・年齢等に関わらず努力の過程や成果を評価する仕組みを作っている						5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	役職や技能者のレベルに応じた講習会を定期的に受講している。(管理者講習、資格取得講習)			4		5.5				8	9									
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を把握理解し、同一労働同一賃金の原則に従っている。					5.5				8.5		10.2 10.3								
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ				3						8										
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の種類ごとに分別し専門業者での適切な処理を依頼し台帳を整備している											11.6 12.4			14.1					
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	LEDや省エネ空調機を導入しランニングコストやCO2排出量を導入前と比較、効果の確認をしている								7.3					13						
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	燃費の良い作業車へ入れ替えを行い排出ガスの比較と削減に取り組んでいる									7.2 7.3			12.4	13.3						
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用時は適切に対応ができるよう勉強会を行った			3.9			6.3						11.6 12.4							

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																		
																																							
15	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	フロンガスの漏洩によるオゾン層の破壊を防ぐため、フロン取り扱いの講習・資格取得を支援している																	15																		
16	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	材料の選定において再生品を利用したエコ商材を積極的に使用している															12.5	14.1																			
17	<input type="checkbox"/>	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ															6.4	6.6																				
18	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ										3.9								6	7				12	13.3	14	15										
19	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																		12.6																		
20	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ																		7.2								13										
21	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																										12.2	13	14	15							
22	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈賄防止】 ・汚職・贈賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動規範、社会的理念を社員に周知し浸透に努めている																										16	16.5								
23	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為防止のための方針を社員教育として周知し浸透に努めている																										16									
24	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】「営業秘密」の適切な管理体制・仕組みを構築する																										8.2	8.3	9							
25	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	お客様情報の取り扱い・持ち出しの方針を定め周知している																										16									
26	<input type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																											16									
27	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ																											5	8	10	12	13	14	15	16	17	
28	<input type="checkbox"/>	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5〜追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している																											3			8	9	10			17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
29	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	電気用品安全法の適用を受ける材料を使用し施工している			3.9											12.4											
30	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	内線規程に準じた施工を行い電気的事故が無いように努めている														9											
31	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ								6									12	13	14	15						
32	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
33	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	電気のトラブル発生時に早急な対応を行い地域のライフラインの持続に努めている							4							9		11	12			14	15		17		
34	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	商工会及び商工会青年部に入会しており地域活性化のための活動に参加している							4									11					14	15		17	
35	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外販）している	チャレンジ															8	9		11	12	13						
36	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念と社訓を社内に掲示し、経営者及び社員が定期的に現状との比較をしている														8	9									17	
37	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	社内回覧や会議で法令遵守を発信している。また、コンプライアンス研修に参加している																								16	
38	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	CSR担当者を設けている																								16	
39	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜対話を行い、その内容を自社の活動方針に反映している																								16	17
40	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																									16	
41	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																									16	
42	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																9		11				13	13.1		16	
43	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ																8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】
 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載しただけでは登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
 ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成
 ○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
 ○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定